

短歌 大子清流高



今月は農林科学科と総合学科を有し、実践教育に殊に力を注ぐ大子清流高校の生徒の作品を紹介する。

える演奏者になるという目標を短歌で表現した。

テスト時の時間のなさど焦りを詠んだ菊地さん。どの問題からやっつけていくかも問題なのかもしれないね。

2年生の菊池さんは早くからやろつと決めても、当日が近づかなければ取りか

折居眠りする表現なのか

浮かぶ。定型でないのは時

折居眠りする表現なのか

折居眠りする表現なのか

折居眠りする表現なのか

折居眠りする表現なのか

折居眠りする表現なのか

折居眠りする表現なのか

大高さんは仲良しの友達と遊園地で大人気の乗り物を待った。たとえ乗れなくとも、幸せと感ぜられるあなたの性格がうらやましい。

堀江さんは大事に思うお母さんに感謝の言葉が言えないと詠む。お母さんにはその気持ちほ通じているかもしれないが、勇気を出し

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

有坂さんは修学旅行？で見た沖繩の青い空や海や楽しい思い出が、今でも眼

前に浮かんできて授業が上の空になってしまつと嘆く。

3年生の木村さんは仲間たちとストープに集い楽しむが、近づく卒業を思うと切ないと詠む。「うなるストープ」の具体が面白い。

子の結果を待ちわび、つい声を掛ける母。それを今は圧力と感ずる金沢さん。

親の気持ち素直に受けとれる日がすくくくるのだろうか。

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

意識高まる恋の不思議さ

目の前に君がいるのに手届かず数メートルが遠く感じる

喜びと笑顔があられる音楽を奏でることが私の目標

テスト中残り五分であと二問焦る私に告げる鐘の音

三日前やさつやさつと思っけどそれができないテスト勉強

冬の日差しのおたかさにそられて睡魔と闘う五時

アトラクション何分待っても乗れないがその時間さえ

いつの日も大事に思う母のことだけと言えない感謝の

墨のせて香りただよい筆おぼせるみんなの笑顔のせて書

沖繩のきれいな海に青い空忘れられずに受ける授業

冬半ばつなるストープに友集う名残惜しくもせまる卒

「結果まだ？」親に圧力かけられて焦りいらだつ高3

授業中お腹の音が鳴り響く先生早く何か話して

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)

静まり返る授業時、おなかが鳴り周りに人たちに伝わることをよく気にする飯岡さん。その心配が上手に表現できた作品である。(県歌人協会常務理事、長風短歌会会員・加藤愛)